

「健診時間診データにおける抑うつ指標とその後の休退学との関連についての観察研究」について

このたび、2016年度から2025年度までの健康診断時に得られたデータや休退学の年次報告を用いて「健診時間診データにおける抑うつ指標とその後の休退学との関連についての観察研究」を行うことになりました。

この研究の目的は、2016年度から2025年度までの学生健診の結果データを解析し、その後の休退学等と関連する要因を抽出し、精神的な面を含めた学生の健康管理に役立てることです。学生さんたちの生活スタイルやメンタルヘルスの傾向を把握し、調査するために本研究を行うこととなりました。

① 試料・情報の利用目的及び利用方法

健診における PHQ-9 スクリーニングで抑うつ傾向やその重症度の特徴・要因を抽出し、それらの因子から休退学を予測するモデルを作成します。

② 利用し、又は提供する試料・情報の項目

2016年度から2025年度までの健康診断期間時に登録された年齢、性別、学年、在籍年数、身長、体重、PHQ-9 各項目得点、各年度の休退学情報、喫煙、運動習慣、飲酒習慣、飲酒習慣スクリーニングテスト、既往歴を対象とします。

③ 利用又は提供を開始する予定日

2028年10月21日 ～ 2028年3月31日まで行います。

④ 試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名

他施設への情報の提供は行いません。

⑤ 提供する試料・情報の取得の方法

他施設への情報の提供は行いません。

⑥ 提供する試料・情報を用いる研究に係る研究責任者の氏名及び当該者が所属する研究機関の名称

他施設への情報の提供は行いません。研究責任者は太田深秀（筑波大学 医学医療系 教授）です。

⑦ 利用する者の範囲

当院単独の観察研究として研究責任者の太田深秀、研究分担者の白鳥裕貴（医学医療系 講師）と袖山紀子（医学医療系 講師）が利用します。

⑧ 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

本研究で利用した電子データなどの記録媒体は袖山紀子が管理します。

⑨ 研究対象者等の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用を停止する旨

得られたデータは研究に使用したいと考えていますが、健診結果等を研究に用いることを希望しない場合は、健診結果は研究に用いません。

⑩ ⑨の研究対象者等の求めを受け付ける方法

健診結果などを研究に用いることを希望されない方や、学生のご家族の方で希望されない方は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。なお解析完了後の同意の撤回については、ご希望に添えない場合があります。同意を撤回した場合でも、対象者に不利益が生じることはありません。

- ⑪ 外国にある者に対して試料・情報を提供する場合には、1(6)イに規定する情報
他施設への情報の提供は行いません。

これまでの健康診断のデータを生かし、さらなる健康の増進にむけて、詳細な解析を行って
いきます。ご理解のほどよろしくお願い致します。

研究責任者所属・氏名 筑波大学医学医療系臨床医学域 精神医学 太田深秀

問い合わせ先：この調査について何かお知りになりたいことや、疑問点がありましたら、遠慮
なくおたずねください。

調査担当者：太田深秀（医学医療系教授）

連絡先：保健管理センター1階事務室（TEL 029-853-2411）